

BENETEAU GRAN TURISMO 50 SPORTFLY Impression



取材協力: マリーナ東海 愛知県西尾市東幡豆町緑ヶ崎1 TEL 0563-62-4511 URL <http://www.tokai-marina.com>



左右にSIMRADのモニターを配置。

フライブリッジは奥行き、幅ともに十分な広さを確保。後方にはソファとテーブルがあり、ゆったりと寛げる。U字ソファは歓談場所として最適だ。

「BENETEAU(ベネトゥ)」はフランスの名門ボートビルダーとしてセールボートやモーターボートの分野において、フランス国内だけでなく、世界的にも高い評価を獲得している。そんなBENETEAUのクーペシリーズにラインナップされている「GRAN TURISMO 50 SPORTFLY」はVOLVO PENTA IPS600を2基搭載した爽快な乗り味と、ラグジュアリーで機能的な居住性能を楽しめる1艇だ。巡航では22~25ノット、最高速は28ノットオーバーで走り、横揺れを低減するジャイロ、ポジションキープの際に重宝する定点保持機能、離着岸などをサポートするジョイスティックといった機能的な装備も搭載されている。また、居住性能に関しても、メインサロンとアフトデッキは一つの空間に連結させることができ、開放感抜群の優雅な空間を演出してく

れる。他にも奥行き・幅ともに申し分無いフライブリッジや高さ・広さともに十分なバウキャビン、優雅でプライベートな空間が演出されたマスターステートルームなどが用意されている。今回はボートを所有する近藤オーナーにご登場頂き、このボートの魅力や普段の遊び方をお伺いすることができた。近藤オーナーは自身で会社を経営しており、会社の福利厚生として使用するため、ボートを購入したようだ。そして、休日には従業員をボートに招待し、船上での食事会やクルージングを楽しんでいる。近藤オーナー自身も、こうした福利厚生があることで、会社の付加価値にも繋がっていることを実感しており、「海の上ではみんな普段見せないような笑顔や、意外な一面を見せてくれるので、私自身みんなとコミュニケーションが取れて、本当に助かっています。」と、



メインサロンはこの広さ。大型のフロントウィンドウや上下2段のサイドウィンドウからは自然光がたっぷり入る。



メインサロンの右舷には2人掛けソファがあり、左舷側にもL字ソファがある。アフトデッキにはウェットバーがあり、下は冷蔵庫。こちらにもL字ソファを配置。



メインサロンとアフトデッキがシームレスに繋がる空間。オーナーの1番のお気に入りポイントにもなっている。



クルーやゲスト用のツインルーム。エンジンはVOLVO PENTA IPS600を2基掛け。大型の発電機やジャイロも装備。アフトギャレーにはBBQグリルがある。



2人掛けのヘルムシートを配置。



中央にはSIMRADの大型タッチパネル。



左側にはスロットルとジョイスティック。



左舷前方に下に降りるステップがある。



機能的なL字のダウンギャレーも配置。



アフトギャレーにはBBQグリルがある。



パウキャビンにはアイランドベッドを配置。ダブルベッドは分割し、Vバースに変形することも可能。



高さも十分確保されたマスターステートルーム。中央にアイランドベッドを配置し、左右にはローチェストがある。



ツインルームとの間にはシャワー&トイレもある。



パウダーエリアにトイレ&シャワーあり。



オーナーのプライベート空間を守る。



愛艇の魅力と遊び方を語ってくれた近藤 満 オーナー。この夏は四国方面へ泊まりのロングクルージングを検討中だ。



BENETEAU GRAN TURISMO 50 SPORTFLY

- 全長:15.78m
- 全幅:4.38m
- 重量:13,935トン
- エンジン:VOLVO PENTA IPS600×2基掛け
- 最大馬力:435HP×2
- 燃料タンク:1,300L
- 清水タンク:400L

福利厚生面においての大きなメリットを教えてください。また、「こうしたイベントにみんなを招待すると、船上で従業員同士の交流も生まれるので、社内の結束が自然と強まります。すると、結果的には退職率も低下し、みんなが長く私の会社で活躍してくれるようになりました。事実、過去3年間の退職者は1人もいませんでした。」と、従業員同士の結束が生まれることで会社にも好影響があることを教えてください。最後に今後チャレンジしたい遊びをお聞きすると、「従業員のみんなと四国方面へ泊まりのロングクルージングに行ってみたいですね。このボートに乗ってクルージングや食事を通じて、みんなでたくさんの思い出が作れたら最高ですね。」と、この夏開催を検討しているイベントを想像しながら、爽やかな表情で語ってくれた。近藤オーナーがボート遊びを楽しむ根源には、普段から会社で活躍している従業員達を喜ばせたいという気持ちがあるのかもしれない。嬉しそうにこの夏の展望を語る近藤オーナーを見ていると、そう思わずにはいられなかった。